診療科・対象疾患	外科・食道癌
プロトコール名	DCF(DOC+5-FU+CDDP)21d
1コース日数	21日
催吐リスク分類	高度

薬剤名	投与量	day1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21								
ドセタキセル注	70mg/㎡	●																											
シスプラチン注	70mg/㎡	●																											
フルオロウラシル注	750mg/㎡	●	●	●	●	●																							

治療スケジュール

処方

(必要時)オランザピン錠(2.5)　2錠　1日1回　夕(day1、2、3、4)

※ 投与の際はドリップアイを使用
※ 治療前日から翌々日まで、輸液負荷を行うこと
※ 1日尿量が3000mL以上になるように調整
※ 当日は測尿を行う
※ 最大3コースまで

Day1

生食　500mL
(ルート確保用)

100mL/h

アロカリス注 235mg
パロノセトロン点滴 0.75mg
デキサート注 9.9mg

30分 →

生食 50mL

15分 →

5%ブドウ糖 250mL
ドセタキセル注 70mg/㎡

60分 →

20%マンニットール注 300mL

90分 →

※ *フィルター不可*

生食 300mL
シスプラチン注 70mg/㎡

2時間 →

フィジオ140　500mL
(5-FUと同時投与)

生食 500mL
フルオロウラシル注 750mg/㎡

24時間持続 →

Day2-5

デキサート注 6.6mg

静注 →

フィジオ140　500mL
(5-FUと同時投与)

生食 500mL
フルオロウラシル注 750mg/㎡

24時間持続 →

フィジオ140　500mL
(5-FUと同時投与)

5時間 →